

梅林秀行

京都ノートルダム女子大学客員教授。

関心分野は都市史、景観史。なにげない地面の高低差をはじめ、さまざまな視点からまちなみや風景、人びとの営みを読み解く。歴史地理に関するテレビ番組に多数出演。

主な著書に『京都の凸凹を歩く』1・2（青幻舎）。